令和４年11月30日

かみせや

横浜市立上瀬谷小学校　学校だより　　１２月号

上瀬谷小学校教育目標　　学び合う子　　認め合う子　　鍛え合う子

きらぽか～子どもたちが創る日々の活動～

子どもたちが、主体的に動き始めた時、学校全体は大きく動き、感動も生まれます。上瀬谷の子どもたちが「考え」「生み出し」「動いた」１１月でした。今月号のタイトルのようにまさに、「きらぽか※」な１か月。（※上瀬谷小児童会の造語）

１１月２日は、４・６年生が瀬谷西高校の３年生といっしょに海軍道路沿いにパンジーやビオラ、ノースポール等々植えてきました。フラワーロードプロジェクトです。海軍道路沿いの「はらっぱ」に全校で出かけた１１月４日。小春日和の素晴らしいお天気でした。これまでの異学年交流をバージョンアップした「きらぽか」と呼ばれる縦割り交流活動は初夏のころに出かけた１回目より、リーダーの６年生には手ごたえがあったようです。６年生は、５年生を次期リーダーとなるよう励ましながらの活動でした。

「～特に５年生の男の子が、肩にかけていた水筒を大変そうに持っていた子に『もってあげようか』と声をかけ、実際にもってあげていたから頼もしいなと思いました。これなら、卒業しても安心と感じました。そして今回は、声掛けを大切にして遊んだので１回目より、みんな言うことを聞いてくれたし、成長したと思いました。～」（6年生のふりかえりカードより一部抜粋）

９日は臨時の児童代表委員会が行われました。「広い校庭で、クラスの皆でたくさん遊びたい！」下級生からの要望に応じた運営委員会がその声に応え、みんなで話合いの場をもちました。「１日だけ掃除の時間を休み時間にしたらどうだろう」「いやいや、それは不衛生だ」「いやいや、普段きっちりやればいいではないか。」代表で集まった児童で折り合いをつけ、昼の時間に遊ぶ時間が増えました。確かに、中休みには委員会活動等があり、遊べないこともあるのですが、月曜の昼は、全校が校庭に出始めました。子どもたちの元気な歓声が響いています。自分達で決めたことをどのように実行していくかが楽しみです。

１５日は開校記念式、２２日は感謝を伝える会と、上瀬谷小学校ならではの児童主体の活動が続きました。「上瀬谷小にはどんな歴史があるのかな、どんなお誕生日を迎えたらいいのかな」「自分たちの総合的な学習を手伝ってくれた〇〇さんをご招待して、お礼を伝えたいな」という子どもたちの思いを、動画やバースデーケーキ、プレゼントのカードなどに、工夫を凝らして表しました。子どもたちが創る活動には、思わず笑みがこぼれます。

私は、子どもたちの心を育てるためには、「子どもは子ども同士の関わりの中で育つ」という仕組みをつくることが大切だと考えています。子ども同士で考え、お互いに気が付いたことは、子どもに響く言葉になって思いやりの心が育ちます。今年も早いもので、最後の月を迎えました。子どもたちが、これらの体験で充電した力を使って、自分自身を高め、自分たちの学校は自分たちで創るもの、と新たな活動を創造することを期待しています。

２１日の「かみせや小懇話会」では、ＰＴＡ本部や地域の代表の方々に、先に述べたような本校の上半期の活動を知っていただき、授業中の様子を見て、子どもたちが生き生きとしていると評価していただきました。来る年もどうぞよろしくお願いいたします。